

トピックス

「グループ対抗里山デジカメ選手権」 の公開最終審査会を開催



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>



「国際森林年」ロゴマーク

2011年は、国連が定める
「国際森林年」です。



写真上：作品を前に里山への熱い思いを語る参加者
写真下：各グループの発表が終わり審査する様子

写真上：里山や森林の現状を語るミニシンポジウム
写真下：表彰式の様子

箕面森林環境保全ふれあいセンターでは、11月13日（土）、滋賀県立琵琶湖博物館（滋賀県草津市）において「平成22年度グループ対抗里山デジカメ選手権」の公開最終審査会を開催しました。この選手権は、里山に暮らす動植物や森林づくり活動、森林環境教育活動などの撮影を通じて、里山の現状や役割を多くの人に伝えることを目的とし、今年で4回目となります。

今年も、「身近な森林の再発見!!」をテーマに写真3枚1組を1作品として募集したところ、学校、森林・林業活動グループ、企業・家族など全国から87グループの応募があり、この中から一次審査を通過した30グループが最終審査に進みました。

最終審査では、一次審査を通過した各グループの代表が日頃の活動や作品の説明、里山への思いをスピーチし、単に映像の美しさにとどまらず、作品に込められたメッセージ性も審査し、写真家の今森光彦氏、農学博士の只木良也氏、フリーアナウンサーの青山佳世氏の3名と本村局長も審査に加わり、最優秀賞（林野庁長官賞）1点、琵琶湖博物館長賞1点、優秀賞（近畿中国森林管理局長賞）7点に、今回は審査員特別賞1点を設け計10点の入選作品を決定しました。

また、審査結果の発表前に京都府立大学教授の田中和博氏をコーディネーターに、滋賀県内を中心に活動する滋賀森林インストラクター会、NPO法人自然と緑、NPO法人ヒマラヤン・グリーン・クラブの代表をパネリストに招き、それぞれのボランティア団体の活動を通して里山や森林の現状を探るミニシンポジウムを開催しました。

「グループ対抗里山デジカメ選手権」入賞者

◎最優秀賞（林野庁長官賞）



一般部門

「里山物語」

親子チーム（大阪府富田林市） 前田 和彦 前田 陽子 阿部 佳世



〈作者からのメッセージ〉

千葉に住んでいる男孫2人は大の鉄道マニアで部屋中新幹線をはじめ電車の玩具がいっぱいである。もちろん電車に乗ることも大好きであり、駅名もかなり覚えている。

休日に、いずみ鉄道（旧国鉄線を3セクで営業）に乗車を目的に出発、大多喜駅に全員を降ろし私は撮り鉄に変身。国道高架橋上でカメラマン4名発見、いずみ鉄道のナイスポイントであった。そこで菜の花の中を走る電車を撮影したもの。勿論孫は最前部に乗車していたのが見えた。

私の家の近くに、日本棚田百選の一つ「千早赤阪の千枚田」がある。近くの田あぜで曼珠沙華が咲き出したので、カメラを片手に家内と出かけた。イネが黄金色に実り案山子がスズメから守る用心棒として滑稽な姿で立っていた。また、曼珠沙華も今が花盛りで千枚田の岸をきれいに飾っていた。

◎琵琶湖博物館長賞

【一般部門】

「新・里山」のいのち
積水ハウス株式会社環境推進部

大阪市北区
延原 裕美 木戸 一成



②【一般部門】

「里山の星のしずく」
新見市唐松ホテル同好会

岡山県新見市
美和 哲也 宮長 正雄 笹田 寛一



◎優秀賞（近畿中国森林管理局長賞 7 作品）

①【一般部門】

「里山の案山子」
家族

奈良県橿原市
榎井 亨 榎井 百合子



③【学校部門】

「虫たちと生きる」
京都大原学院

京都市左京区
尾崎 明日香 山本 莉帆



④【学校部門】

「モンスター出現！！」
長野県木曽郡木祖村木祖中学
校3学年(平成20年度)

長野県木曽郡木祖村
小林 晴菜 牛丸 京香 柳川 浩司



⑤【学校部門】

「小さないのち」
広島県立庄原格致高等学校 写真部C

広島県庄原市
城戸 莉菜 石田 香織



⑥【森林・林業活動部門】

「理想の森のなかまたち」
理想の森プロジェクト

京都市左京区
前田 純二 金澤 瑛 淵上 佑樹



⑦【森林・林業活動部門】

「よみがえる茅葺き民家」
滋賀県立大学男鬼楽座

滋賀県彦根市
翠 勇樹 田辺 京子 草野 有美



◎審査員特別賞

【森林・林業活動部門】

「檜皮採取養成研修」
公益社団法人全国社寺等屋
根工事技術保存会

京都市東山区
田中 敬二 友井 辰哉 大野 浩二



地域ニュース

世界文化遺産貢献への取り組み

【計画課】近畿中国森林管理局の管内には、全国にある国宝を含む重要文化財の木造建造物の半数以上が所在するとともに、世界文化遺産に登録されている8件の「木造文化財建築物群」のうち6件が所在しています。

この歴史的木造建造物を後世に守り伝えていくためには、定期的な修復が必要ですが、^{ひわだ}檜皮や構造材等の修復資材やこれに携わる技術者・技能者も不足しており、木造建造物の維持、継承に支障をきたしている状況にあります。

このような中、当局では、これらの重要な歴史的木



知恩院の背景にある高台寺山国有林

造建造物の維持、継承に資する観点から、世界文化遺産の周辺に所在する京都市内（京都府）、宮島（広島県）、奈良盆地周辺（奈良県）、紀伊山地の霊場と参詣道周辺（三重県、奈良県、和歌山県）に所在する国有林4,778haを「世界文化遺産貢献の森林」に設定し、森林と文化財とのかかわりなどを普及する象徴的・総合的な拠点として、木造建造物の修復に必要な檜皮や木材などの資材の供給体制の整備や^{もとかわし}※原皮師の養成のためのフィールドの提供などに取り組んでいます。

また、マツクイムシやカシノナガクイムシの被害が発生し、文化的景観への影響が懸念されている箇所において、景観を回復させるため被害木の処理や新たな稚樹を発生させるための取り組みなども行っています。

今後とも当局では、世界文化遺産と一体となった景観の保全や、木の文化を象徴する日本の伝統的な木造建造物を後世に伝えていくための取り組みを進めています。

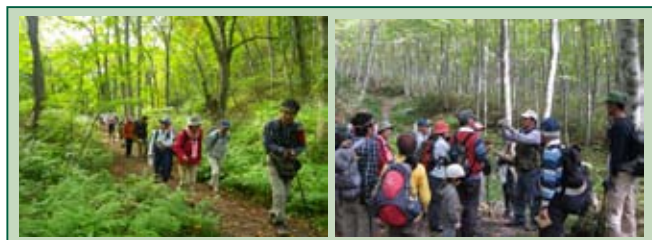
^{ひわだぶき}（※原皮師とは、檜皮葺の材料となる檜皮を採取する人）

森林生態系保護地域自然観察会を開催

【鳥取森林管理署】大山森林生態系保護地域は、大山周辺の原生的な国有林を保存することによって、森林生態系の保全、野生動植物の保護、生物遺伝資源の保存などに資することを目的として、平成4年3月に設定されました。

以来、近畿中国森林管理局では、森林の生態、大山の地形・地質や動植物に詳しい専門家（現在9名）を「森林生態系保護地域保全管理協力員」として委嘱し、保全管理活動の一翼を担っていただいています。

保全管理協力員と森林管理署では、森林生態系保護地域での取組をより多くの方々に理解していただくために、毎年秋季に「自然観察会」を開催しています。



自然とふれあいブナ林で森林浴を楽しむ参加者

本年は、秋雨予報の合間を縫うような秋晴れに恵まれ、新聞公募等により応募の13名が、奥大山健康の森（江府町）から鳥越峠（江府町・琴浦町）へと通じるなだらかなブナの樹海を散策しました。

参加者は、協力員の先生方による植生や野生動物、歴史・文化に関する軽妙な解説に聞き入り、熱心にメモを取ったり、質問や感想を交わし合うなど、終始、和気藹々とした雰囲気の中で深まる秋の自然を満喫しました。

予定していた時間があっという間に過ぎた一日。参加者からは、「楽しかった。来年も是非参加したい」との声。

リピーターも多く、口コミで密かに広がるなど、知る人ぞ知る「大山・秋の恒例行事」として定着しています。

関連ホームページ
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/tottori/>

地獄谷国有林で森林散策を実施

【奈良森林管理事務所】春日山原始林に隣接している地獄谷国有林において、橿原市立耳成みみなし小学校の5年生の児童3クラス、118名を対象に森林教室を実施しました。

耳成小学校は、森林環境教育推進校に指定され、森林を身近に感じるための体験を通して、森林環境を大

切にする気持ちと節度を育むことを目的に、「奈良森林管理事務所の協力を得て学びたい」との依頼により、本年度2回目となる森林教室を行いました。

はじめに、上席調整官から森林での注意事項等と「森林に入って、見る、香る、音を聞く等いろいろな発見を楽しく森林散策をしましょう。」との挨拶の後、職員の案内で各クラスに分かれて、森林散策をしました。

地獄谷国有林には、春日山石窟仏や地獄谷聖人窟など国指定の史跡があり、岩に刻まれた石仏を興味深く見学していました。



出発前に注意事項を聞く生徒達

首切り地蔵スギの幹廻りを測る児童

また、旧柳生街道の「滝坂の道」の首切り地蔵スギでは、幹廻り5.3mを児童が6～7人で手をつなぎ、巨木の大きさを実感していました。

児童は、森の中にある様々な形の葉っぱや枝を見つけ、いろいろな角度から観察していました。また、カタツムリや沢ガニ等にも興味を示し、「また遊びに来たい」、「とても楽しかった」等の感想が聞かれました。

最後に職員手作りの「小枝のモックン」をプレゼントし、楽しい一時を過ごしました。

関連ホームページ
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/nara/>

お知らせ

平成23年度「国有林モニター」を募集中

国有林を開かれた「国民の森林」とするよう取り組んでおり、その一環として、国民の皆さまのご意見やご要望を国有林野行政に反映させるため「国有林モニター事業」を実施しているところです。

この度、平成23年度「国有林モニター」を募集いたしますので、多くの皆様からのご応募をお待ちしております。

平成23年度「森林のギャラリー」の展示団体を募集中

多くの国民が親しむ「開かれた国有林」を目指すため、局庁舎1階の展示ギャラリー『森林のギャラリー』への展示参加を広く募集しております。

詳細につきましては、下記アドレスよりご覧下さい。
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>